



すぎなみくこ

杉並区子どもワークショップ 2

シーズン



だい かいおよ とりくみないよう はっぴょう じっしほうこく

第6回及び取組内容の発表の実施報告について



すぎなみくこ シーズン さんか

「杉並区子どもワークショップ 2」に参加していただきまして、ありがとうございました！

かつ にち おこな だい かい こ およ かつ にち おこな とりくみないよう はっぴょう

7月28日に行った第6回子どもワークショップ及び8月4日に行った取組内容の発表について、実施報告をお送りします。

じっしほうこく おく

て、実施報告をお送りします。

とりくみないよう はっぴょう む じゅんび

1. 取組内容の発表に向けた準備

だい かい こ (第6回子どもワークショップ 7月28日実施)

第6回子どもワークショップでは、34名が参加し、ファシリテーター(進行役)は前回までと同じ、東京経済大学教授 野村武司先生(のむさん)でした。小学生と中・高校生世代で、5～6人ずつ6班に分かれ、発表当日と同じ班で、発表をイメージしながら準備をしました。

はじめに、8月4日の取組内容の発表の流れについて説明を聞きました。

取組内容の発表の流れ

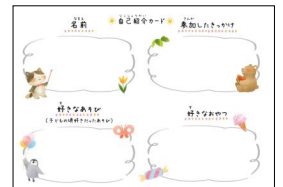
1. 参加者アイスブレイク
2. 開会あいさつ・自己紹介
3. これまでの取組についての説明
4. 「子どもの権利」についての発表・意見交換
 - ① 全体発表(スライド)
 - ② 「大切にしたい権利」班発表・意見交換
5. 「子どもの居場所」についての発表・意見交換
 - ① 全体発表(スライド)
 - ② 「居場所について考えたこと」班発表・意見交換
6. 子どもの居場所についての意見表明
7. 意見交換

テーマ:「杉並区を子どもにやさしいまちにするためには、どんなことが大切だと思いますか？」
8. 参加記念品贈呈・開会あいさつ

第6回子どもワークショップで発表に向けて準備したこと

自己紹介カードの記入

当日スムーズに自己紹介できるよう準備しました！



スライドショーのアフレコ(P.3)

発表用ワークシートの記入 & 班発表ボードの作成(P.2)

意見表明の内容のまとめ(P.3)

意見交換ワークシートの記入(P.3)

展示などの装飾(P.3)

(1) 発表用ワークシートの記入 & 班発表ボードの作成

- ☆ ワークショップの前半では、次の①②について、班で発表する内容を考えました。まずは発表用ワークシートに自分の考えをまとめました。

①「子どもの権利について」

- ・答申に書かれた「子どもにとって大切な権利」の中で、特に大切にしたい権利とその理由

「子どもにとって大切な権利 6つの案」

安心して生きる権利

守られる権利

意見を聴かれる権利

育つ権利

自分らしく生きる権利

個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・大切な権利が守られて、もっとこうなったらいいと思うこと
・もっとこうなったらいいと思うことのために、大人に大切にしてほしいこと、大人がした方がよいと思うこと

第4回では、「家庭（保護者）」「学校・児童館・図書館などの育ち学ぶ施設」「地域」「区」など、それぞれの場所での大人の役割を考えました！



②「子どもの居場所について」

- ・自分にとっての居場所とそう思う理由
・「子どもの居場所マップ」づくりをして、「こんな場所があるといいな」「いまある場所がこうなるともっといいな」と考えたこと

- ☆ 発表する内容が決まったら、班で発表するときに使うボード（班発表ボード）を作りました。



画用紙に「自分が特に大切にしたい権利」と「こんな居場所があるといいな」と考えたことを書いた班発表ボードを作成しました！

- ☆ 班発表のリハーサルも行い、時間配分や言い残したことはないかななどの確認をしました。

(2) いけんこうかん きにゅう 意見交換ワークシートの記入

- ☆ つぎ いけんこうかん すぎなみく こ 次に、意見交換をする「杉並区を子どもにやさしいまちにするためには、どんなことが大切
おも だと思いますか?」というテーマについて、ワークシートに自分の思いを書きました。

(3) いけんひょうめい ないよう 意見表明の内容のまとめ • スライドショーのアフレコ • てんじ そうしよく 展示などの装飾

- ☆ さいご ほうびよう む やくわりぶんたん くちよう いけんひょうめい ぜんたいほうびよう 最後に、発表に向けて役割分担をしました。区長への意見表明、全体発表のスライドショーの
てんじ そうしよく たんとう わ じゃんび おこな アフレコ、展示装飾の3つの担当に分かれ、それぞれ準備を行いました。



いけんひょうめい ないよう けんとう
◆意見表明の内容を検討◆



◆スライドショーのアフレコ◆



てんじ そうしよく
◆展示などの装飾◆

おうだんまく いろぬ
横断幕の色塗りや、
かいじょう かざ はな
会場に飾るお花などの
そうしよく
装飾づくりをしたよ!



2. 取組内容の発表 (8月4日実施)



8月4日に、子どもワークショップ 2 取組内容の発表を行いました。32名が参加し、区長や応募してくださった区民の方等(13名)も参加されました。参加した大人は、各班に2~3名ずつ入りました。また、多くの保護者が見学に来てくださいました。

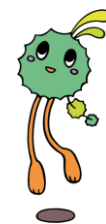
今までの子どもワークショップで行ったことをまとめた展示もしました。



1. はじめに

- まず、子どもと職員だけで、アイスブレイクとして「お金集めゲーム」を行いました。
おもちゃのお金を1人3万円ずつ持って、会場内を歩いて出会った人とじゃんけん！
勝ったら1万円もらい、たくさんのお金を集めていくゲームでした。
最終回のアイスブレイクも盛り上がりしました！

アイスブレイクで少し緊張もほぐれたかな？



- 次に、のむさんより発表の流れの説明があり、発表のリハーサルをしました。

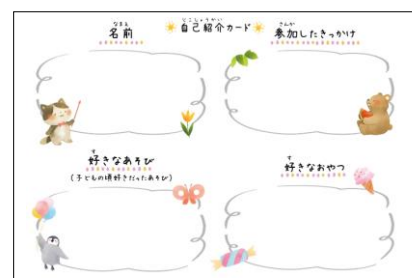
2. 開会あいさつ・自己紹介

- いよいよ開会となり、大人の参加者と見学の保護者等が合流しました。
- はじめに、区長より開会あいさつがありました。
- 大人の参加者が班に入り、全員で自己紹介をしました。
自己紹介カードを使って、①名前 ②参加したきっかけ ③好きなあそび(子どもの頃好きだったあそび)、④好きなおやつを紹介しました。

◆自己紹介の様子◆



◆自己紹介カード◆



好きなあそびの紹介では、ドロケイなど、
世代を越えて親しまれているあそびが
出てきて盛り上がったよ！

3. これまでの取組についての説明

🍎 次^{つぎ}にのむさんより、これまで^この子どもワークショップ^{とりくみ}の取組^{せつめい}についての説明^{せつめい}がありました。

☆ 区^くが「(仮称)杉並区^{かしょう}子どもの権利^{すぎなみくこ}に関する条例^{けんり}」の制定^{かん}を見据^{じょうれい}えて、子どもたち^{せいてい}の意見^みを聴^ききながら検^{けんとう}討^{すす}を進^{すす}めていること

☆ 「杉並区^{すぎなみくこ}子どもの権利^{けんり}擁護^{ようご}に関する審議^{かん}会^{しんぎかい}」が提出^{ていしゅつ}した答申^{とうしん}に、子どもワークショップ^こで出^だしてもらったみなさん^{おも}の思^{かんが}いや考^{はんえい}えが反映^{はんえい}されたこと

☆ 現在^{げんざい}検^{けんとう}討^{すす}を進^{すす}めている「杉並区^{すぎなみくこ}子どもの居場所^{いばしょ}づくり基本^{きほん}方針^{ほうしん}」では、子どもワークショップ^こで出^だしてもらった意見^{いけん}を反映^{はんえい}していくこと
などのお話^{はなし}がありました。



4. 「子どもの権利」についての発表・意見交換

🍎 全体^{ぜんたい}発表^{はっぴょう}

☆ まずは全体^{ぜんたい}発表^{はっぴょう}として、「子ども^この権利^{けんり}」についてこれまで
の子どもワークショップ^{おこな}で行^{ないよう}った内容^みをまとめたスライド
ショーを見ました。
スライドショーは、第6回^{だい}のワークショッ^{かい}プでみなさん^{かい}にアフ
レコをしてもらいました！



🍎 班^{はん}発表^{はっぴょう}・意見^{いけん}交換^{こうかん}

☆ 次^{つぎ}に、班^{はん}発表^{はっぴょう}ボード^{おも}を使^{つか}って、次^{つぎ}の内容^{ないよう}について一人^{ひとり}ずつ考^{かんが}えたこと^{はっぴょう}を発表^{はっぴょう}しました。

発表^{はっぴょう}内容^{ないよう}

- ・答申^{とうしん}に書^かかれた「子ども^こにとって大切^{たいせつ}な権利^{けんり}」の中^{なか}で、特^{とく}に大切^{たいせつ}にしたい権利^{けんり}と
その理^り由^{ゆう}
- ・大切^{たいせつ}な権利^{けんり}が守^{まも}られて、もっ^{おも}とこうなったらいいと思^{おも}うこと
- ・もっ^{おも}とこうなったらいいと思^{おも}うことのため^{おとな}に、大人^{おとな}に大切^{たいせつ}にしてほしいこと、大人^{おとな}が
した方^{ほう}がよいと思^{おも}うこと

☆ 発表の後、発表の内容について班の中で意見交換をしました。班発表・意見交換では、次のような意見が出ました。(一部抜粋)

・「意見を聴かれる権利」を大切にしたい。安心して自分らしく生きるためには、子どもが意見を言いやすい社会になって欲しい。大人だけで勝手に決めてほしくない。

→区長:意見を言い合うっていうことが大人自身もできていないと感じる。大人同士もちゃんと話し合えるようにならなければ、子どもの意見も聴けるようにはならないんじゃないかと感じた。

・「守られる権利」を大切にしたい。自分が辛い状況にあるということ、本人自身が認識できていないこともあるのではないかと考えた。お互いの状況を理解しあうことが大切だと思う。大人はすぐに親の責任だと言うが、親自身もつらい時もあると思うので、親のことはみんなで支えて、親が子どもを支えられるようにして欲しい。

・「自分らしく生きる権利」を大切にしたい。理由は、子どもがこうやってみたいと言っても、親とかにダメと言われて、できないことが多いから。大人にしてほしいことは、家庭で、親(大人)は体の暴力はしなくても、言葉の暴力をすることがあるから、それをなくしてほしい。

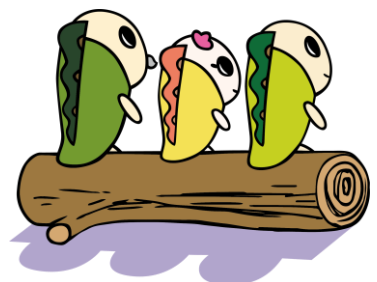


5. 「子どもの居場所」についての発表・意見交換

「子どもの居場所」についても「子どもの権利」と同様に、全体発表の後、班発表と意見交換を行いました。

🍎 全体発表

☆ 「子どもの居場所」について、これまでの子どもワークショップで行った内容をまとめたスライドショーを見ました。



はんぱびょうないよう
発表内容

- ① 自分^{じぶん}にとっての居場所^{いばしょ}とそう思う理由^{おも りゆう}
- ② 「子どもの居場所マップ」^{こ いばしょ}づくりをして、「こんな場所^{ばしょ}があるといいな」「いまある場所^{ばしょ}がこうなるともっといいな」と考えたこと^{かんが}

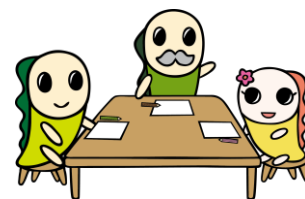
はんぱびょう いけん こうかん つぎ いけん で いちぶばっすい
 班発表・意見交換では、次のような意見が出ました。(一部抜粋)

いけん
①の意見

- ・家が安心^{いえ あんしん}できるから居場所^{いばしょ}だと感じる。
- 参加者の大人^{さんかしゅ おとな}:みんなが家が居場所^{いえ いばしょ}と聞いて安心^{あんしん}した。家にいるのがつらい子ども^このため^{ため}に、居場所^{いばしょ}はつくらないといけない。
- ・推し^おの世界^{せかい}が自分^{じぶん}の居場所^{いばしょ}。家に自分の居場所^{いばしょ}がないから、推し^おの世界^{せかい}にいると自分^{じぶん}らしくいられる。
- 参加者の大人^{さんかしゅ おとな}:物理的^{ぶつりてき}な居場所^{いばしょ}と気持ち^{きもち}の居場所^{いばしょ}の両方^{りょうほう}が必要^{ひつよう}だと思った。

いけん
②の意見

- ・子ども^この気持ち^{きもち}に寄り添^よってくれる場所^{ばしょ}がほしい。
- ・児童館^{じどうかん}みたいに、雨^{あめ}が降^ふっても遊べる場所^{あそ}を増や^{ばしょ}してほしい。
- ・公園^{こうえん}は中高生^{ちゅうこうせい}に対してルール^{きび}が厳^{きび}しいから、中高生^{ちゅうこうせい}が遊べる公園^{こうえん}が欲しい。
- ・進路相談室^{しんろそうだんしつ}のように、つらい気持ち^{きもち}を気軽^{きがる}に話せる場所^{ばしょ}(しんど相談室^{しんどそうだんしつ})がほしい。
- また、そこに行くことで学校^{がっこう}の出席^{しゅっせき}の代わりになるなど、何らか^{なん}の理由^{りゆう}で学校^{がっこう}で行けなくな^いっても、内申点^{ないしんてん}等^{とう}で不利^{ふり}にならない仕組み^{しく}にしてほしい。学校^{がっこう}との関わり^{かんけい}のない、知らない人^{ひと}に相談^{そうだん}できるといい。
- 参加者の大人^{さんかしゅ おとな}:学校^{がっこう}のスクールカウンセラー^{かんかつ}は学校^{なか}の管轄^{そんざい}の中の存在^{たいおう}なので、対応^{たいおう}が難^{むずか}しいときもあるかもしれない。ただ、今の仕組み^{いま}の中でも学校^{なか}に関係^{かんけい}ない人に悩み^{なや}を相談^{そうだん}できる仕組み^{しく}はある。



6. 「子どもの居場所」について意見表明

● 続いて、子どもから区長や子ども家庭部長、各課長に向けて、区が考える「今後の子どもの居場所の取組の方向性」についての意見を表明しました。



☆ 意見表明では、次のような意見が出ました。(一部抜粋)

児童館

◎「今ある児童館は残していくこと」という方向性について
→「もうなくなったところにはもう一度作ってほしい」
「すべての小学校に居場所をつくってほしい」



放課後等居場所事業

◎「希望する子どもがおやつを食べられるようにすること」という方向性について
→「ルールをちゃんと決めてほしい」「アレルギーの配慮が必要」

図書館

◎「自習もできる調べものコーナーのスペースを増やしていく」という方向性について
→「自習をもっとできる場所にしてほしい」「自習場所の空き状況が知りたい」

体育施設

◎「体育館を1回100円で予約なしで利用できる『子どもうんどう広場』の時間を増やしていく」という方向性について
→「『子どもうんどう広場』を利用できる曜日・時間・回数を増やしてほしい」「遊びに行くのにお金を持っていくことに不安を感じる」

公園

◎「みんなの意見を聴きながら公園利用のルールを見直していく」という方向性について
→「球技ができるスペースを区切って、犬の散歩をしている人や体の不自由な人など、だれでも安心して楽しめる公園が良い」「プールなどの水遊びができるところを増やしてほしい」

● 意見表明を受けて区長からは、みなさんの意見をしっかりと受け止めることや、今後も区民の方々や子どもたちのご意見を聴く取組が大切だと考えていることなどのお話がありました。



7. 意見交換

最後に、次のテーマについて考えたことを、花びらの形の紙に書きました。

テーマ

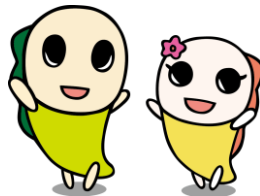
「杉並区を子どもにやさしいまちにするためには、どんなことが大切だと思いますか？」

班の中で意見を交換しました。次のような意見が出ました。（一部抜粋）

- ・地域全体で子どもを育てる。見守る。
- ・「子どもだから」という意見を聴かないのではなく、子どもでもしっかりと意見を聴いてくれる大人が増えてほしい。
- ・大人が子どもの声に耳を傾ける。どこにも居場所がない子どもが居ない杉並をつくる！

みんなが書いたメッセージの花びらを重ね合わせると、ひまわりのお花が完成しました！

それぞれの班の意見交換で出た意見を全体へ発表し、作ったひまわりを模造紙に貼り付けました。
全ての班のひまわりを貼り付けると、ひまわり畑が完成しました！



8. 参加記念品贈呈・閉会あいさつ

最後に区長より参加証明書が渡され、閉会しました。

◆参加証明書◆

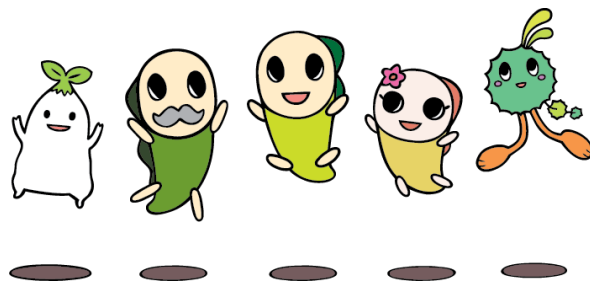


3. おわりに

「杉並区子どもワークショップ^{シーズン}2」はいかがでしたか？ 毎回積極的に取り組んでくれてありがとうございました！

皆さんの貴重なご意見は、杉並区が進める取組に活かしていきます。

「杉並区子どもワークショップ^{シーズン}3」へのご参加もお待ちしております♪



お問い合わせ先 🍎 (平日8:30~17:15)

○杉並区子ども家庭部児童青少年課 小田 松下 中谷

TEL:03-3393-4760 FAX:03-3393-4714

e-mail:you-s@city.suginami.lg.jp

address:杉並区荻窪1-56-3 児童青少年センター(ゆう杉並)

○杉並区子ども家庭部 子ども政策担当課 八巻 永田 佐々木